※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書(<u>工事</u>) 契約番号: 7151

件名	ライスセンター外装改修工事	
履行場所	海老名市大谷 306 番地	
工期	令和7年9月19日~令和8年1月	30 日 (134 日)
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり	
予定価格	20, 163, 000 円 (税込)	18, 330, 000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (事前算定型)	
	詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及	なび入札説明書等を参照してください。
入札方法等	条件付一般競争入札(電子入札)	
質疑	所定の書式により、FAX で受け付け	
(仕様等に関する事項)	電子入札システムの機能は使用した	ないでください。

参	営業種目	ORITH NUMBER 1 (1995) ORITH NUMBER 1 (1995) ORITH NUMBER 1 (1995) ORITH NUMBER 1 (1995) 経審 - 点以上 - 点未満 経審 - 点以上 - 点未満 経審 - 点以上 - 点未満 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
加	発注区分 詳細は入札公告で確認し てください。	第 1 区分 第 1・第 2 区分の入札に初めて参加する場合は、営業 実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
条	その他の要件	告示日現在で社会保険(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く本市発注の建築一式工事において、過去5年間、工事評定で65点未満の工事がないこと。
件	落札件数制限	あり (第1区分及び第2区分の同日開札の <u>工事</u> で、基本数 <u>1</u> 件まで) 詳細は入札説明書等を参照してください。
P	配置技術者等の 兼任について	本案件に配置する主任(監理)技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・ 一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。
	事前提出書類 (システム添付)	参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)に加入していることを証する書類の写し。(次の(1)~(3)のいずれか) (1)経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書(経営事項審査)の写し ※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要 (2)(同通知書発行後に社会保険に加入した場合)健康保険、厚生年金保険及び労働(雇用)保険料の領収書の写し (3)(法令に基づき社会保険適用を除外されている場合)健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書
	入札時提出 (システム添付)	○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書(工事入札時システム添付)」をダウンロードして使用してください。システムへはPDF化して添付してください。
(落札候補者が 提出する書類 FAX046-232-6574)	開札後、落札候補者は次の書類をFAXで提出してください。 (落札候補者決定の翌開庁日午前10時まで。詳細は開札後FAXで通知します。) ○配置技術者等に関する書類

○建設業許可	の確認でき	ス聿粨
		(3) 古地

※<u>健康保険被保険者証の写しを提出する場合は、被保険者等記号・番号及び</u>保険者番号(3箇所)にマスキング(黒塗り)をして提出してください。

ライスセンター外装改修工事

内容説明事項書

海 老 名 市

1.	エ	事	名	称	ライスセンター外装改修工事		
2.	ェ	事	場	所	海老名市大谷306番地		
3.	エ	事	概	要	ライスセンター作業所の外壁及び屋根等の防水改修工事等を行うもの。 ■ 工事内容 ・直接仮設工事 ・防水改修工事(外壁、屋根等) ・塗装改修工事(鋼製建具、笠木、水切、鉄骨柱梁、配管、壁面ボックス等) ・建具改修工事(建具廻り、ガラス止めシーリング打ち替え、建具清掃等) ・その他工事(竪樋等交換、外部キャットウォーウ撤去、基礎欠損部分等補修、フェンス門扉改修及びその他上記工事に伴う付帯工事一式)		
4.	ェ	事	期	間	令和7年9月19日 から 令和8年1月30日 まで		
5.	設	計	図	書	(1)設計図	3 5	枚枚
6.	数	ξ :	里	書	(1)数 量 書		枚

- 7. 法 令 の 遵 守 本工事の実施に当たり、建築基準法、消防法、その他各関係法令・規則等 を確実に遵守すること。
- 8. 官公署手続きは、全て受注者の責任と負担に於いて行うこと
- 9. その他の事項

項目	適 用	内 容	備考
(1)事業区分			
①事業区分	□ 補助事業		
© 7 H = 77	■ 市単事業		
(2)工事監理体制			
2工事監理体制	■ 市担当者		
◎ → → Ⅲ · Ξ //·····	□ 外部委託者		
(3) 工程関係			
①工期内施設利用	□有■無		
②関連工事、	□有:■無		
その他工事	- 17 - 7		
③施工時期の制限	■有□無		・日曜、祝日は原則休工とする。 ・水田の渇水期に現場施工を行うこ と((9)その他⑤施工時期・時間等を参照))。
④施工時間の制限	■有□無	8:00から17:00まで	
⑤協議未成立事項	□有■無		

項目	ì	窗	F	Ħ	内 容 等	備考
(4) 仮設関係	<u> </u>					
①仮設計画	•	有		無	図示	・受注者において、発注図の仮設計 画図を参考に作成し、事前に施設 管理を参考に作成し、事前に施設 管理るを多び市担当者等の承諾を受 けること。 ・隣地内(敷地西側)への足場等の 設置や、足場設置に伴う際には、 事前に隣地所有者の承諾を得るこ と。 ・工事期間中も敷地西側隣地は使用 中であり、隣対の五行があるため、十分な安全対策を施 し、安全の確保を図ること。
②交通誘導員		有		無	数量書による	
③工事用電力、 水の利用		有	•	無	受注者対応	
④濁水・湧水処理にお ける特別な対策等		有	•	無		
(5) 支給品						
①支給品について		有		無		
(6)建設副産物関係	1					
①建設発生土		有	•	無		
②建設副産物 建設廃棄物	•	有		無	数量書による	
③その他 (特別産業廃棄物等)		有	•	無		
(7)各種調査、使用制限						
①各種調査		有	•	無		
②使用制限 関係法令、規則等を遵守す るのは当然のこと右記事項 にも配慮すること	-	有		無	揮発性有機化合物等	本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等の放散しないもの又は放散量の少ないものを使用すること(F☆☆☆☆使用)。
(8) 現場対応						
①現場照査等					分に行い、不明確な部分は』 をとること	C事打合簿により施工前に市監督員と
②公衆災害					る振動・騒音・粉塵・悪臭等 については、受注者の責任に	等については、特に注意し、付近住民 こおいて解決すること
③原形復旧				- :	備品類の移動及び養生、清抗 後は原形に復すること	帚については、受注者の責任において
(9) その他						
①適用基準等		海	芒名	市才	マームページ「海老名市公共コ	二事共通事項書」1、適用図書による。
②工事完成図書		「1 海	8 I 老名	工事 市,	トームページー検査担当から 関係様式」内、工事提出書業 トームページー営繕課担当事 事 工事提出書類作成等の手	頁チェックリストによる 務
③海老名環境マネジメ ントシステム	₹:		ア	レ」だ		ムの運用に伴い、「公共工事環境配慮 事では、その環境配慮マニュアルに いて環境配慮に努めること
④法定外の労災保険の 加入	入	する	ے ،		また、受注者は保険契約を終	臂補償制度(法定外の労災保険)に加 締結したときは、発注者にその証券等
⑤施工時期・時間等	現 ^り と。		įΣl	こつ	いては、原則、水田の渇水期	明(11月から2月までの間)に行うこ
⑥工事完成時期	現均	易施	Œί	ま、	令和8年1月16日までに完了る	させるよう努めること。
⑦敷地の周辺状況					(隣地内設置物、樹木、そのよる被害を与えないこと。	D他構造物等)を事前に調査・記録

☆ 公共工事において配慮すべき環境要素 海老名市の公共工事において配慮の対象とすべき環境要素は、以下の一覧表のとおりとする。これらの環境要素は、工事施 工過程の環境負荷の低減はもとより、公共工事の成果として地域及び地球環境に有益な影響が得られるためには不可欠なもの である。

環境要素一覧表

大分類	中分類	小分類
		①自然林、草原など面的な広がりを持つ緑
	(1)緑	②堤防、土手、法面、並木などの樹林帯又は草原など線的な連続性を持つ 緑
	(2)地形•地質	その場所本来の地形・地質とそれに依拠する生態系
	(3)水辺	河川や水路などとその堤敷及びそれに依拠する生態系
1 地域の自然環境・ 景観	(4)動植物	現にその土地に生息するか、又は最近まで生息していた動植物
	(5)歴史的遺産	①地表に存在する文化財、遺跡等 ②埋蔵文化財
	(6)景観	①その土地の現在の景観 ②その土地に現在ある眺望地点とそこからの景観
		③道路等、都市基盤施設がもたらす景観
	 (1)資源	①石油類・金属・水・岩石等の鉱物資源
	(1) 英 ///	②木材等の森林資源
		①公園、屋外体育施設又は工事などで発生する砂塵による迷惑を考慮すべき局地的な大気環境
	(2)大気	②自動車の排ガス、ごみ焼却施設からのダイオキシン等による汚染を考慮すべき地域的な大気環境
		③フロンガス、二酸化炭素等の放出による影響を考慮すべき地球規模の大 気環境
		①公園、屋外体育施設、駐車場などの排水の影響を受ける水系
	(3)水質	②土地の改変等による濁水等の影響を受ける水系
O 14-74-700-14		③土木工事により影響を受ける地下水
2 地球環境	(4)土壌	畑、水田、砂利道等のほか舗装されていない剥き出しの地面
		①排出土
		 ④伐採材
	(5)建設副産物	 ⑤まだ使用可能な製品
		 ⑥鉄骨・鉄筋・その他の金属類の切りくず
	(6)熱帯林	コンクリート型枠などに使用され、減少を続ける熱帯林資源
		①工事作業機械の稼動による騒音
	(1)騒音	
		①工事作業機械の稼動による振動
	(2)振動	②工事用車両走行による振動
	(3)悪臭	しゅんせつ土等の悪臭
	(4)電波障害	大規模建築物による電波受信状態への影響
3 生活環境	(5)日照障害	大規模建築物による日影時間への影響
		①公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設又は他の施設等の夜間照明により影響を受ける周辺住民の生活環境
		②道路整備におけるルート又は道路構造による地域分断
	(6)地域生活環境	③歩道若しくは道路横断施設又はその他の公共施設等における高齢者・障害者の安全な通行・歩行環境
	İ	<u> </u>
		④大規模建築物の駐車場等への出入り車両により影響を受ける交通の安全 性

□ 設計・施工時に配慮する事項

3. 建物建築・改修工事

作業	配慮事項	環境要素
工事全体	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。	3-(1)-①② 3-(2)-①②
掘削	排出土の発生を抑える設計を行う。	2-(5)-①
	極力現場内での利用を図る。	2-(5)-①
搬出土処理	搬出する場合は他の市内工事での有効利用を図る。	2-(5)-①
	排出土中に他の廃棄物が混入しないよう分別する。	2-(5)-①
地 業	砂利地業では再生砕石を使用する。	2-(5)-23
型枠	鋼製型枠の使用を検討する。	2-(6)
鉄骨・鉄筋	切りくず等のリサイクルに努める。	2-(5)-⑥
金属類	切りくず等のリサイクルに努める。	2-(5)-6
木 材	集成材の使用を検討する。	2-(1)-2
雨水排水	雨水の集水桝に浸透型を使用する。	2-(3)-3
内装	石膏ボードはリサイクル製品を使用しない (廃棄処分時に有害物質が発生する)。	2-(5)-8
7 表	壁紙等はリサイクル製品を使用する。	2-(1)-2
	ホルムアルデヒド等の低使用製品を使用する。	2-(5)-8
断熱	冷暖房施設の省エネのため、断熱構造とする。	2-(1)-① 2-(2)-③
	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両 (ディーゼルエンジン) を使用する。	2-(2)-2
工事作業機械・車両運行	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-(1)(2) 3-(2)-(1)(2) 3-(6)-(5)
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

□ 設計・施工時に配慮する事項

令和7年度

数量書

工事名称 ライスセンター外装改修工事

工事場所 海老名市大谷306番地

エ 期 令和7年9月19日から令和8年1月30日まで

工事概要 ライスセンター作業所の外壁及び屋根等の防水改修工事等を行うもの。

■ 工事内容

- 直接仮設工事
- · 防水改修工事(外壁、屋根等)
- · 塗装改修工事(鋼製建具、笠木、水切、鉄骨柱梁、配管、壁面ボックス等)
- ・建具改修工事(建具廻り、ガラス止めシーリング打ち替え、建具清掃等)
- ・その他工事(竪樋等交換、外部キャットウォーク撤去、基礎欠損部分等補修、 フェンス門扉改修及びその他上記工事に伴う付帯工事一式)

工事費內訳 1

		1						
名	称	数	量	単位	金	額	備	考
直接工事費								
建築工事								
			1					
計				式				
P1								
共通費								
共通仮設費								
			1	式				
現場管理費				工				
30 W L 113			1					
一般管理費等				式				
一版官理貨等			1					
			1	式				
計								
工事価格								
IIM I II			1					
NU atta est les viu etc				式				
消費税等相当額			1				消費税率 10 %	
			1	式			111 90 70	
工事費								
			1	式				
				14				
]						
		0		1	1		1	

工事種別內訳 2

名 称 数 量 単位 金 額 備 建築工事	考
建 采上于	
1 式	
計	

名	称	数	量	単位	金	額	備	考
			1					
			1	式				
i i	†							

作業場			_					
名	称	数	量 単	単位	金	額	備	考
接仮設			_					
			1	式				
i水改修				10				
			1					
根及びとい改修				式				
低及いとい以修			1					
			1	式				
壁改修								
			1	式				
装改修				IV.				
			1					
- 11 11				式				
の他改修			1					
			1	式				
生材処理								
			1	-4-				
計				式				
н								

作業場				直接仮設				-			_	
名	称	摘	要	数	量	単位	単 価		金	額	備	考
養生											別紙 00-0001	
					1	式						
整理清掃後	後片付け					14					別紙 00-0002	
					1	_15						
外部足場						式					別紙 00-0003	
					1						7,000	
災害防止						式					別紙 00-0004	
火告防止					1						別城 00-0004	
				1		式						
仮設材運搬	[]				1						別紙 00-0005	
					1	式						
計												
						 						
	[

建築工事 細目別内訳

作業場			防水改修					外部			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備考	
シーリング・撤去	外壁									別紙 00-0006	
				1	式						
ソーリンク 撤去	建具周囲・ガラス周り)			14					別紙 00-0007	
•				1							
シーリンク゛	建具周囲				式					別紙 00-0008	
·929	建共同团			1						別和 00-0008	
					式						
゛゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙				1						別紙 00-0009	
				1	式						
ーリンク゛	外壁									別紙 00-0010	
				1	式						
計					IV.						

作業場			屋根及びという	女修				外部				
名 称	摘	更	数	量	単位	単	価	á	室 額		備	考
水洗い工法	15MPa											
				376	m²							
アクリルゴム系塗膜防	屋根 中波スレート				111							
水	ま。リマーヤメントタイプ。 遮熱仕ま			376								
竪樋改修	エクセルテックスBBシステムBS-S工法 撤去新設	同等			m²					무미소	纸 00-0011	
至他以形	1版云利 収			1						75/1/1	1, 00-0011	
				-	式							
軒樋改修	撤去新設			1						別約	纸 00-0012	
				1	式							
計												
					1			1				
					1			1				
					1							
					 			+				

建築工事 細目別内訳

乍業場		外	壁改修					改修			
名 称		Æ	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
、洗い工法	15MPa 外壁中波ルート部			488	m²						
i 圧洗浄	30~50MPa RC基礎立上) 部		75. 7	m²						
フリルゴム系塗膜防	外壁中波スレート ポリマーセメントタイプ 遮熱仕ホ エクセルテックスBBシステムBSーS工法			488	m²						
計	,, , ,										

作業場		-	塗装改修					外部			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
DP塗り 改修仕様	鉄鋼 A種 下地RB種(塗替え面 錆止め工程B種)		33. 1	m²						
DP塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	下地RB種(塗替え面 靖止め工程B種 鉄鋼 A種 下地RB種(塗替え面 靖止め工程B種)		177	m						
計											

建築工事 細目別内訳

作業場		その他改修					改修			
名 称	摘要	数量		単位	単	価	金	額	備	考
がうス清掃	AW-1・AW-3 (両面) 、AW-2 (片面)		27. 2	m²						
建具清掃	AD-1×1・AG-1×4・AG-2×1か所		1	式						
ヤッター下端排水用 目地新設			1	式					別紙 00-0013	
ひび割れ・爆裂部 補修	エボキシ樹脂モルタル充填工法 鉄筋部分下地調整 錆止め塗装共 計6箇所		1	式						
外壁スレート欠損部補 修	シーリング 補修 		1	式						
樹木枝払い	集積共		1	式						
キャットウォーク撤去	鉄骨カッター主体 壁接続部分シーリンク 補修共 集積共		1	式						
鋼製建具改修	撤去及び新設 DP塗装		1	式					別紙 00-0014	
ネットフェンス門扉改修			1	式					別紙 00-0015	
計										

作業場			発生材処理							
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備考
発生材積込み							-			別紙 00-0016
				1						
M. J. L. Vot Ma					式					Dilári on one
散去材運搬				1						別紙 00-0017
				1	式					
敢去材処分										別紙 00-0018
				1						
-1					式					
計										
								İ		

作業場			直接仮設								
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
養生										別紙 00-0001	
				1	式						
養生(外壁改修)					10						
				152	2						
計					m²						
н,											

作業場			直接仮設								
名 称	摘	要		量	単位	単	価	金	額	備	考
整理清掃後片付け		_								別紙 00-0002	
				1	式						
整理清掃後片付け											
(屋根改修)				327	m²						
整理清掃後片付け											
(外壁改修)				152	m²						
計					111						
					Ì						
										1	
										1	
										1	
i											
										1	

乍業場			直接仮設								
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
卜 部足場										別紙 00-0003	
				1							
h.vn +- p. 18	7-1-1-1- 000 × 1-1-00	++++=00×1+++			式						
枠組本足場 手すり先行方式)	建枠 600×1700	布枠500×1枚		764							
T 9 9 7611 77 X/	12川/八川町			104	m²						
安全手すり アイフェ	枠組本足場用										
手すり先行方式)				84							
- 1					m						
計											

作業場			直接仮設								
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
災害防止										別紙 00-0004	
				1	式						
災害防止	ネット状養生シート 防炎	I類			- 1						
				764	m²						
小幅ネット張り	防炎ポリェステル				111						
(層間塞ぎ)				84							
歩み板	屋根踏抜き防止用				m						
9.07.10	安全ネット共			327							
計					m²						
ĦΙ											
		'									
	1										
	1				L			l		1	

作業場		直接仮設				
名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備考
仮設材運搬						別紙 00-0005
		1	式	 		
(外部)			10			
仮設材運搬	建枠幅600					
(校組本足場)	建作幅600	764				
(手すり先行方式)		1	m²			
仮設材運搬	枠組本足場用(手すり先行方式)					
(安全てすり)		84	m			
仮設材運搬			111			
(シート・ネット類)		764				
仮設材運搬			m²			
(小幅ネット)		84				
			m			
仮設材運搬 (歩み板)	安全ネット共	207				
(少み似)		327	m²			
計						
·						

作業場				防水改修			外部				
名	称	摘	要	数量	単位	単 価	金	額	備考		
シーリング゛撤去		外壁							別紙 00-0006		
				1	式						
シーリング撤去		集積共									
				91. 9	m						
計					111						
		1									

乍業場			防水改修					外部				
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
/-リング撤去	建具周囲・ガラス周	n 34	300		+12		ІШ	30.	TLPA	別紙 00-0007		
/·/ IIIA 24	ZZX/AE 7/ 7/19	^		1						337724 00 000.		
	10.00				式							
〜リング撤去	集積共			276								
				210	m							
計					111							

作業場			防水改修					外部			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
シーリンク*	建具周囲			1	式					別紙 00-0008	
シーリンク゛	一般部 変成シリコー 25×10	ン系 (MS-2)		154	m						
計					111						

				防水改修		外部							
称		摘	要	数	量	単位	単	価		金	額	備	考
シーリンク゛)												別紙 00-0009	
					1								
シーリンケ゛)	シリコン	1成分	形			I							
-3)	SR-1	両面			61. 2								
11 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2.01 2.0	14/\1	. Str			m							
2-929)	SR-1	片面	15		60. 5								
	010 1	71 ры			00.0	m							
												+	
												1	
												1	
	ソーリンク [*]) -3) ソーリンク [*])	ンーリング [*]) シリコン -3) SR-1 シーリング [*]) シリコン SR-1	/-リング)シリコン 1成分 -3) SR-1 両面 /-リング)ジリコン 1成分 SR-1 片面	/~リック*) シリコン 1成分形 -3) SR-1 両面 /~リック*) シリコン 1成分形 SR-1 片面	/~リング) シリコン 1成分形 -3) SR-1 両面 /~リング) シリコン 1成分形 SR-1 片面	1 /──リソグ*) シリコン 1成分形 -3) SR-1 両面 61.2 /──リソグ*) シリコン 1成分形 SR-1 片面 60.5	1 式 /ーリング*) シリコン 1成分形 -3) SR-1 両面 61.2 m /ーリング*) シリコン 1成分形 SR-1 片面 60.5 m	1 式 /──J/ソク*) シリコン 1成分形 -3) SR-1 両面 61.2 m /──J/ソク*) シリコン 1成分形 SR-1 片面 60.5 m	1 式 /──リソグ*) シリコン 1成分形 -3) SR-1 両面 61.2 m /──リソグ*) シリコン 1成分形 SR-1 片面 60.5 m	1 式 /──JV/ **) シリコン 1成分形3) SR-1 両面 61.2 m /──JV/ **) シリコン 1成分形 SR-1 片面 60.5 m	1 式 ゾーリング*) シリコン 1成分形 -3) SR-1 両面 61.2 m レーリング*) シリコン 1成分形 SR-1 片面 60.5 m	1 式 ゾーリング*) シリコン 1成分形 -3) SR-1 両面 61.2 m レーリング*) シリコン 1成分形 SR-1 片面 60.5 m	1 式 /──JV/^*) ジリコン 1成分形 -3) SR-1 両面 61.2 m /──JV/^*) ジリコン 1成分形 SR-1 片面 60.5 m

作業場				防水改修		外部						
名 乖	Ť	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
シーリンク゛		外壁			1	式					別紙 00-0010	
シーリンク゛		一般部 変成シリコー: 20×25	/系(MS-2)		91. 9							
計						m						

接続及びとい改修 外部 本	在未上于	73 3/1F () 3/1 F					1			
整樋改修 撤去新設 1 整樋牧100 Φ 一 櫃落し口 (7箇所) 、 樋受け金物共集積共 m 整樋野100 Φ 一 樋落し口 (7箇所) 、 樋受け金物共 42 一 一 日 一 日 一 日 一 日 一 日 一 日 日 日 日 日 日 日 日<	作業場									
整樋牧U100 φ 樋落し口 (7箇所) 、樋受け金物共 42 集積共 m 整樋Ψ100 φ 樋落し口 (7箇所) 、樋受け金物共 42	名 称		数量	単位	単 価	金 額				
竪樋散去 竪樋W100 φ 樋落し口 (7箇所) 、樋受け金物共集積共 42 竪樋新設 竪樋Y100 φ 樋落し口 (7箇所) 、樋受け金物共 42 m m	竪樋改修	撤去新設					別紙 00-0011			
竪樋 W100 φ 種落し口 (7箇所) 、樋受け金物共 42 集積共 m 竪樋 F100 φ 種落し口 (7箇所) 、樋受け金物共 42 m			1							
樋落し口 (7箇所) 、 樋受け金物共 集積共 42 m 竪樋新設 竪樋 IP100 φ 樋落し口 (7箇所) 、 樋受け金物共 42 m	竪桶撤去	竪桶VII100 A		IV.						
集積共 m 整樋YP100 φ 糖落し口 (7箇所) 、樋受け金物共 42 m		樋落し口(7箇所)、樋受け金物共	42							
樋落し口 (7箇所) 、樋受け金物共 42 m m		集積共		m						
m l	竪樋新設	竪値VP100 φ	40							
計		樋洛し口(7箇所)、樋気り金物共	42	m						
	計			111						
				1 1						
	1									
	1									

作業場									外部			
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
軒樋改修		撤去新設			1	式					別紙 00-0012	
軒樋撤去		180角型(硬質塩 樋受け金物共 集積共 180角型(硬質塩			42. 4	m						
軒樋新設		180角型(硬質塩 樋受け金物共	化ビニール系)		42.4	m						
計												

作業場			その他改修			改修				
名 称	摘	要	数量	単位	単 価	金 額	備考			
シャッター下端排水用 目地新設							別紙 00-0013			
日地新設			1	式						
排水用目地切り	W20×D20									
			4. 5	m						
計				111						
					1					

作業場		その他改修			改修	
名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備考
鋼製建具改修	撤去及び新設 DP塗装					別紙 00-0014
		1	式			
鋼製戸撤去	両開き戸 扉のみ 集積共					
		8. 1	m²			
鋼製戸新設	両開き戸 扉のみ W2,700×H3,000		m			
1,112,0	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	8. 1				<u> </u>
鋼製戸塗装	DP塗装(新規面・両面塗装)		m²			
	素地こしらえ (工程B種) 、 錆止め 塗装 (工程A種) 共	1	式			
計						
	l .	I.		1		

作業場				その他改修					改修		_		
	陈	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額		備	考
ネットフェンス門扉。。	女修				1						別	川紙 00-0015	
					1	式							
ネット交換		ネットH=1500 着	色塗装亜鉛メッキ										
		鉄線 φ 3. 2X50	ta) 6㎡加		1	式							
吊りブレース	交換	(設置撤去手間含 M14 静電粉塗装を	1ーンバックル付ブレース			10							
		(設置撤去手間含	む)2本共		1	式							
ネットフェンス鉄部D	P途	鉄鋼 A種				工人							
り		下地RB種(塗替え)	面)										
(糸幅300mm以 改修仕様	下)	錆止め工程B種											
公区口水					24. 1								
計						m							
πT													

作業場		発生材処理				
名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0016
発生材積込み	金属くず	0.6	m3			
発生材積込み	木材類	0.5	m3			
発生材積込み	混合廃棄物	0. 2	m3			
iiii						

作業場		発生材処理				
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
撤去材運搬						別紙 00-0017
		1				
Mr I Voit Men	180 m ² 1 m h o retror		式			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 金属類	0.6				
		0.6	m3			
撤去材運搬	ダンプ゚トラック 2t積級		1113			
11X 24 F 1 X 2 F X	人力積込 木材類	0. 5				
	DID区間有り 1.5km以下		m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込					
	安定型混合廃棄物	0. 2				
計	DID区間有り 1.5km以下		m3			
ĦΤ						
			İ			

作業場			発生材処理						
名 称	摘	要	数量	単位	単 価	金	額	備	考
撤去材処分								別紙 00-0018	
			1	式					
発生材処分	金属類								
			0.6	m3					
発生材処分	木材類			1113					
			0.5						
発生材処分	安定型混合廃棄物			m3					
2211/23	XXCIII II II XX		0.2						
計				m3					
ĒΓ									
	1								

				-					-				
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
カ゛ート゛フェンス		H=1.8m 柱脚固定具与 供用120日賃料 修理	生 春会す。		28								
			A 1 6		20	m							
キャスターケ゛ート		W3000×H1800程度 4か月 運搬費共			1								
		IN 71 KEMARY			1	か所							
交通誘導警	F備員B												
					9								
31						人							
計													
				1									

ライスセンター外装改修工事

■ 図面リスト

図面番号	図 面 名 称	縮尺
00	表紙・図面リスト	N. S
01	建築工事改修特記仕様書(1)	N. S
02	建築工事改修特記仕様書(2)	N. S
03	建築工事改修特記仕様書(3)	N. S
04	案内・配置図	N. S • 1/400
05	1 階平面図	1/100
06	屋根伏せ図	1/100
07	北側・南側立図	1/100
08	西側・東側立図	1/100
09	断面図	1/100
10	キープラン(平面図)・キープラン(立面図)	N. S
11	建具表·雜詳細図	1/50 - 1/100
12	仮設計画図 (参考図)	1/200

海老名市

特記仕様書	1	・その他の廃棄物(管理型) 種類 受入施設名 所在地 (Km) 備 考	10. 建築基準法に よる風圧力等 の指定	(3.5.4) (3.9.3) (5.12.5) (13.2.3) (13.3.3) 適用工事 建築基準法の指定 ・合成高分子系ルーフィングシート 風速(V0) ※34・ ・アルミニウム笠木・金属板屋根養 地表面租度区分・II ・II	2 ① 仮囲い	※ 設ける
1 工事番号・名称 ライスセンター外装改修工事 2 工 事 場 所 海老名市大谷306番 3 用途地域等	_	上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定する ものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。		・ 折板屋根葺 ・ ガラスブロック 多雪地域の指定 ・有 ・無	②. 交通誘導員 ③. 工事表示板	※ 配置する ・ 配置しない※ 設置する ・ 設置しない
都市計画区域 (〇 内 ・ 外) 用途地域 (市街化調整区域) 防火地等(・ 防火 ・ 準防火 ・ 指定なし		また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること PCB (ポリ塩化ピフェニール) 含有機器 ・ 有 [5.4.3] ・ 無	11. 設計GL 12. 施工調査	※ 図 示 現状平均地盤高 1.5.2 施工数量調査 (1.5.2 ・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。 (1.5.3)	役 ④ 足場その他	海老名市公共工事共通事項書による 内部足場 ※ 脚立、足場板等 ・
5 敷 地 面 積 991.537 ㎡ 6 工事の概要 防水改修工事: 屋根、外壁等 塗装改修工事: 銅製建具、笠木、水切、鉄骨柱梁、配管、壁面ボックス等	般	PCB含有シーリング材 ・ 有 [5.4.4] ・ 無 PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に	1	既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。 (1.5.3) 調査項目 調査 節 囲 調査方法 成 果 品 外壁 全体 目視・打診	_	外部足場 A種 B種 C種 D種 (表2.2.1) 防護シート ※ 設ける・設けない 材料の運搬 A種 B種 C種 表2.2.2) ・ D種 ※ E種
建具改修工事: 建具刷り、が 5ル止かナツが 打ち替え、建具清掃等 その他工事: 竪騒等交換、外部ドッけっか搬去、基礎火積部分等補修 フルパ門原改修及びその他上記に伴う付帯工事一式	#	納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。 アスペストの処理	_		K	足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に
		吹き付けアスペスト除去工事 有(図示)・無 受け入れ施設名・所在地(km) アスペスト含有保温材除去工事 有(図示)・無 受け入れ施設名・所在地(km)	13. 技能士	下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は	⑤. 養生	よること。 家具の移動 ・ 行う(図示) ① 行わない (2.3.1)
	通	アスペスト成形板除去工事 ・有(図示) ・無 受け入れ施設名・所在地(km) ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理	般	士を配置する。 ・ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。 - 工事種_目 技能検定職種(技能検定作業)	W 00 00000	既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 □ ・ 行う 養生の方法・保管場所
7 別途工事	*	ヒ素又はカドミウムボード ・有(図示) ・無	д	以下の該当工事 - 該当する作業がある以下の職種(作業)の全て - 仮設工事 - とび(とび作業) 防水改修工事 - 防水施工(・アスファルト防水工事作業	6. 仮設間任切り 7.監督職員事務所	- A種 · B種 ※ C種 所 ※ 設けない(請負者事務所に打合せ会議室を確保する) <2.4.12
			25	 ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 アクリルゴム系塗膜防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事件業 	8) 工事用水	・設ける(規模 m程度 講負者事務所と同様 ・可 一合) 備品(構内既存の施設 ・ 利用できる(※有償 ・無償) ※ 利用できない ※数地内の水道/-ケーの本管側で分岐し、工事用-ケ-を新たに設けること。
8 そ の 他 9 特記仕様書の範囲	項 (5) 電気保安	- 適用する ※ 適用しない <1.3.3>	J05	- セメント系防水工事作業 - シーリング防水工事作業 - 改質アスフォルトンートトー折防水工事作業	9. 工事用電力10. 工事用通路	設置にあたっては水道局と協議を行うこと。 構内既存の施設 ・ 利用できる(※有債 ・無債) ※ 利用できない
特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の〇印のもので構成する。 構造時記仕様書 外棋二時紀已世報 起鉄工事特記仕様書 解体工事特記仕様書 電気設備工事特記仕様書 機械設備工事特記仕様書	⑥ 事故報告	〈1.3.10〉 工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するととも	*	・ FRP防水工事作業) ・	10. 工事用連路 11. その他の仮設 1. アスファルト 防水	※ 指定しない ・ 指定する (図示) 改修工法の種別
I 建 築 工 事 仕 様 1.共通仕様	⑦. 建築材料等	に、任意様式にもとづき「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。 材料の品質等 ※ 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの	項	・ 塗装 (建築塗装作業) ・ サッシ施工 (ビル用サッシ施工作業) ・ ガラス施工 (ガラス工事作業) ・ カラス施工 (ガラス工事作業)	WIN	- E-1 屋内 (便所・浴室)
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通会大臣官房房庁営結補監修の「 公共建設会体工事標本性報号最新版)」以下、「夜修構工性技書」という。こよる。ただし、 改修標本性核書に記載されていない事項は、「公共建築工事標率仕様書(最新版)」以下「標 年仕様書)という。)及び 複葉物解体工事提出性様書(最新版)」以下「解体共 遺仕株書」と		とし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員 の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これら		- 自動ドア施工(自動ドア施工作業) - 内装仕上施工(・プラスチック系床仕上工事作業 - カーベット系床仕上作業 - ボード仕上工事作業		アスファルトの種類 JIS K2207のJIS表示認証製品 ※3種 3.2.2〉 脱気装置 設ける 設けない 種類 平面部脱気型・立ち上がり部脱気型
いう。)による。 なお、その他能工条件は、別途本工事内容説明事項書による。 2、特記仕様 1)項目は様		と同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 環境への配慮		- 銅製下地工事作業) - 表装 (壁装作業) - 塗装 (壁装作業) - 塗装 (建築塗装作業) - 計震改修工事 - 鉄筋能工 (鉄筋組立作業)	2. 伸縮調整目地	※ 成型伸縮目地(天端 EPTゴム, サイド ブチルゴム製)
2)特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と⊗印のついた場合は、共に適用する。 3)特記事項に記載の()、 >及び「1内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」。		※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、揮発性有機化合物 の放散による健康への影響に配慮する。※ ホルムアルデヒド仕様		・型枠施工(型枠工事作業) ・とび(とび作業) ・コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業) ・鉄工(構造物鉄工作業) ・ブロック建築(コンクリートプロック工事作業)	3. 改質アス ファルト シート防水	改修工法の種別 〈3.1.4〉(3.4.3〉(表3.1.1)〉(表3.4.1~2) 新規防水層の種別 改修工法の種類 施工 面所 仕上 生料 - A S - T ※ カラー - A S - J ・ シルバー
「改修標準性棒書」及び「解体共通仕棒書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 章 項 目 特 記 事 項		使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合 該当する建築材料		#出成形セメント毎工事 - A L C バネル施工 (A L C パネル工事作業) 石工事 - 石材施工 (石張り作業) 排水工事 - 配管 (建築配管作業)		- AS I - - 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 種類 ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型 (3.4.3)
 ○ 工事施工中に予期せ故事態や疑義が生じた場合には、整督職員に報告の上、指示に従うこと ○ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進券をはかること。 		1) JIS及びJASのF☆☆☆☆品 2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 3) 次の表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用		舗装工事	4. 合成高分子系 ルーフィング	施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。 ・ 改修工法の種別
① 施工体系図を現場に掲示すること。 ・ 工事無手前放び完成時に、以下にす請査範囲の近隣家屋等の内外の 状況 (無態、接壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督 職員に押出すること。		b.接着剥等不使用 c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない 材料使用		屋根及びとい工事 - 建築板金 (内外装板金作業) - スレート施工 (スレート工事作業)	シート防水	** カラー ** カラー ** シルバー ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **
一 横浜に変出」るとこ。 原産施囲 ※ 図示・ 原産施囲 ※ 図示・ 原産施囲 ※ 図示・ 原産・	d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない 塗料使用	(A) 完成時 提出書類	※ 見開きA3 (製本A4判) 竣工図、施工図 2部(検査後提出) ※ 完成図面電子データ (JWW形式及UPDF形式) 1式 ※ 本工事内容説明事項書に基づく市指定の工事書類 1式	奓	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない (3.5.3) 種 類 ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型 ・ 旅工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。	
競工事標準詳細図 (国土交通省大臣官房営籍部監修 最新版) 海老名市公共工事共通事項書	8. 室内の空気中 の化学物質濃 度の測定		(5. 工事写真	※ 建築物等の維持・保全に関する資料 1式(検査後提出) : ** その他監督職員が指示したもの 1式 1式 ** 作成する ・ 作成しない	I (5). 塗膜防水	改修工法の種別
③ 工事実績情報 ※ 適用する (請負精算額が500万円以上の場合) (1.1.4) 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録		測定対象物質 ※ ホルムフルデヒド (濃度指針値 100μg/m3 - 0.08ppm) ※ スチレン (濃度指針値 220μg/m3 - 0.05ppm)	16. 設備工事との	工事写真は、「海老名市公共工事デジタル写真管理要領」により撮影する。 施工範囲 各工事の区分表による。		脱気装置 ・ 設ける ・設けない
共 登録 手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 - 適用しない		 ※ 14.12 (濃度指針値 260 μg/m3 - 0.07ppm) ※ 1514・ンセン (濃度指針値 3.800 μg/m3 - 0.28ppm) ※ キシレン (濃度指針値 870 μg/m3 - 0.20ppm) ※ パラジ ウロウ、ナセン (濃度指針値 240 μg/m3 - 0.04ppm) 	取合い ① 火災保険等	施 工 図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して 監督職員の承諾を受ける。 工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。		施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。 - 非破壊膜厚管理工法 膜厚管理結果報告書 図面 を提出 X-1:全面測定 メーカー非対応の場合は監督員と協議のこと
● 発生材の 類性 (1.3.8) ・ 別報等 ・ 引張と受するもの () ・ 特別管理産業廃棄物 (アスペスト) ・ 受入れ施設名・所在地 (m)		測定する室等: () 採取方法: 吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。		保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険 保険期間 ※ 工事着手から工事目的物引き渡し日まで	⑥ シーリング 材料の種別 及び施工箇所	X-2:1か所以上/@1~3m程度 施工数量に応じて監督員と協議のこと <3.7.2×表3.7.1> * 被着体に応じたものとし、〈表3.7.1>を標準とする。 - 〈表3.7.1)によらない箇所及びシーリング材料
- 現場において再利用を図るもの (測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を2部提出する。 ・測定結果 ・試料採取時の状況(気温・湿度(室外・室内), 天候, 風の状況,				(表3.7.1)によらない箇所 シー リング材料
** - コンクリート境 - アスファルト - コンクリート境 - 連接廃在木材		日射進入状況 測定年月白、時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事 完成時から測定日までの日数 ・試料採取方法、測定方法、使用した測定機器			⑦. シーリング 改修工法	改修工法の種別 〈3.1.4〉〈3.7.4~8〉〈表3.1.2〉 改修工法の種類 施 エ 箇 所 シーリング充てん工法
項 - コンクリートか ら成る建設資材		測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。 ・総揮発性有機化合物の測定				○ シーリング再充てん工法 外壁目地 建具廻り・ 拡幅シーリング充てん工法・ ブリッジ工法()
 ○その他の廃棄物(安定型) 種類 要入施設名所在地(Km)備考 混合廃棄物 		測定方法、測定物質及び測定か所等については、別図に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。 ※ 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については、			® ≿ い	(3.8.2×表3.8.1×表3.8.3~4) 材 種
	9. 特別な材料の 工法	施設管理者に依頼する。				 使買塩化ビニル管 (VP) 特記無き限り既存のとい受け金物を使用する。 鋼管製といの防露巻き (3.8.3×表3.8.4)
	上法	上点は、当然表別が指走上法と9つ。				調官設といり加路をさ (3.8.3 × 表 3.8.4 ×) ※ (表 3.8.5)による。
				図面名称	建筑工事改体	#±=2/L+学+ /1) 図面番号

0 1

③ 9. ルーフ	※ 鋳鉄製 ・改修用ドレイン 〈3.8.2〉×表3.8.2〉 4 3.	浮き部改修	モルタル塗り仕上げ <4.4.	1><4, 4, 8~15>	6	壁仕上げ既存	<4 6 3> 5	8. 木製建具	(16. 7. 2~4)	
防 ドレイン	※ 縦型 · 横型 / - 横型	A C HP CAP	1 箇所 浮き代 アンカーピン 注入	延べ面積				o. macanye	建具材の加工、組立時の含水率 A種 ※ B種 C種 かまち戸の樹種 かまちは杉上小節程度 桟、鏡板は杉無節程度	
が 10. アルミニウム 水 製笠木	部材の種類	\	(m) 一般部 一般部	- 般部		及び下地処理			ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度	
at Seal A	・ 板材折曲げ形 ・ 押出 150形 ax	\	指定部 指定部 指定部 指定部 指定部 指定部 1	指定部			・ 塗膜はく離剤工法 ○ 水洗い工法 ○ 図示 (15Mpa)		ふすまの種類 ※ 戸ふすま · 在来型 · チップ型	
44	付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、笠木本体製作所の 堂 仕様による。		エポキシ樹脂注入工法 未満 ※25・				<u> </u>	9. 建具用金物	金物の種類 型式 製造所	
PS	表面処理	\	・アンカーピンニング全面 0.25 1.0 <u>※13 ・ ※12</u> エポキシ樹脂注入工法 以上 以下 <u>※20 ・ ※20</u> ・アンカーピンニング全面 0.25 1.0を <u>※13 ・ ※12</u>		5 (1)	一般事項	改修工法 〈5.1.3〉		本締り付きモノロック	
-	※ B−1種 · B−2種 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	\	エポキシ樹脂注入工法 以上 以下 ※20 ・ ※20 ・アンカーピンニング全面 0.25 1.0を ※13 ・ ※12 ポリマーセメント 以上 越える ※20		٦		 かぶせ工法 ① 撤去工法 		シリンダー箱錠シリンダー本締り錠	
事 ① 防水保証	アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルー フィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、施工業者	\	スラリー注入工法 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	- 3	建		新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。 見本の作成等 〈5.1.5〉 改		ドアクローザー	
	との連名の保証書を提出する。	\	・注入口付アンカーピン 0.25 ※ 9 · ニング部分エポキシ 未満 ※ 218				製 作 ※ 行わない ・ 行う(建具表による)		フロアヒンジ ヒンジクローザー 内蔵型	
	塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・防水業者が通常 定めている期間として、作成し提出する。	\	樹脂注入工法		_		仮組 ※ 行わない ・ 行う(建具表による)		ピポットヒンジ JIS表示認証製品	
O a susside to the	I	\	・注入口付アンカーピン 0.25 1.0 ※ 9 ・ ※ 9 ニング全面エポキシ 以上 以下 ※16 ※16		~		防犯建物部品 ※ 使用しない ・ 使用する(建具表による) 〈5.1.7〉 修	1	レバーハンドル	
4 1. ひび割れ部改修	・ コンクリート打放し仕上げ 〈4.3.4~6〉 エ 法 材 料 ひび割れの幅 延べ長さ	\	樹脂注入工法		2	アルミニウム	外部に面する建具 (5. 2. 2)<5. 2. 4)<表5. 3. 2)		標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(準標準型共)のドアクローザー、	
外	(mm) (m) #	\	ニング全面ポリマー 以上 越える	i	改	製建具	種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法(mm) ・ A 種 S-4 A-3 W-4 70 (引達い、片引き、上げ下げ窓		シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。 マスターキーの作成 要 不要	
	 可とう性エポキシ樹脂 		\ セメントスラリー ※16 ⋅ ※16 ⋅ ※16 注入工法 ※16 ⋅ ※16				で複層ガラスを使用する時に ^工 ・ B 種 S−5 性能が確保できない場合は、	1	・ 不要(既存マスターキーで施解錠可能とする。)	
壁	※ 樹脂注入工法 ※ 硬質形エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 ・ 軟質形エポキシ樹脂 0.3~0.5未満		・\充てん工法 0.25				100)	10. 自動ドア	性能 ・ スライディングドア 〈5.8.2〉〈表5.8.1~2〉	
	0.5~1.0未満		・モルタル塗替え工法	 1	修		· C 種 S-6 A-4 W-5 ※100 ·	開閉装置	・ スイングドア	
改	※ リカットシール ※ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 材充てん工法 0.3~0.5未満						※ 適用箇所は図示による		センサーの種類 ・ 光線式(反射)スイッチ 〈5.8.3〉<表5.8.3〉 ・ マットスイッチ式	
	0.5~1.0未満 ・シーリング材PU-2 1.0~1.5未満		- タイル張り仕上げ (4.5.	1><4.5.7~15>	_		表面処理 外部に面する建具 ※ B-1種 · B-2種 内 部 建 具 ※ C-1種 · C-2種		・ タッチスイッチ ※ 補助センサー併用	
修	- 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未満		1 箇所 浮き代 アンカーピン 注入[エ 法 の面積 (mm) (本/㎡) (箇/r	延べ面積 ・	_				※ 補助とフリー所用	
	~ 未満		(m) 場合	- 般部			・ステンカラー		凍結防止装置 · 要 ※ 不要	
I I	モルタル塗り仕上げ (4.4.5~7)		- 押定部 指定部 指定部 指定部 指定部 指定部 指定部 指定部	指定部	*		防音ドアセット、防音サッシ 適用する (適用範囲は図示による)		全半開装置 ※ 設ける(半開幅=) ・ 設けない	
	工 法 材 料 ひび割れの幅 延べ長さ (mm) (mm) (mm)		エポキシ樹脂注入工法 未満 ※25 ·				※ 適用しない 適用する場合の遮音性の等級 T-1 T-2 T-3	11 ##	<5. 10. 2><表5. 10. 1>	
*	※ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 0.2未満 可とう性エポキシ樹脂		アンカーピンニング全面 0.25 1.0 ※13 ※12 エポキシ樹脂注入工法 以上 以下 ※20 ※20				断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する (適用範囲は図示による)	11. 重量 シャッター	種 類 シャッター 耐風圧 開閉方式 保護装置 ケース 性能 開閉方式 保護装置	
	※ 樹脂注入工法 ※ 硬質形エポキシ樹脂 0.2~0.3未満		・アンカービジニング全面 0.25 1.0を ※13 ・ ※12				※ 適用しない 適用する場合の断熱性の等級 · H-2 · H-3		一般シャッター ※ 設ける ・ 50 ※ 上部電動式 障害物感知装置	
	・ 軟質形エポキシ樹脂		_ スプリー注入工法				耐震ドアセット、耐震サッシ 適用する(適用範囲は図示による)		- 設けない - 80 (手動併用) (自動閉鎖型) - 120 - 上部手動式 ※ 設ける	
	※ Uカットシール ※ 可とう性エボキシ樹脂 0.2~0.3未満		・注入口付アンカ\ーピン 0.25 ※ 9 · ニング部分エポキシ 未満 ×16				※ 適用しない		・ 設けない	
	材充てん工法 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満		樹脂注入工法				適用する場合の面内変形 ・ D-1 ・ D-2 追随性の等級		- 防火シャッター ※ 設ける (JIS A ※ 上部電動式 障害物感知装置 ・ 外部用 ・ 4705に (手動併用) (自動閉鎖型)を	
	シーリング材 P U - 2 1.0 ~ 1.5 未満 可とう性エポキシ樹脂 1.5 ~ 2.0 未満		・注入口付アンカーピン 0.25 1.0 ※9・ ※9 ニング全面エポキシ 以上 以下 ※16・ ※16		,	網戸	使用方法による区分 ※外面納まりの可動式 <5.2.3>		・ 内部用 よる 設ける。 強さの	
	- 別とりほエバギン協加 1.502.0不満 ~ 未満		樹脂注入工法		3.	9F9 /-	・内部納まりの開き式		区分)	
	- タイル張り仕上げ 〈4.5.5~8〉〈4.5.16〉		ニング全面ポリマー \ 以上 越える				防虫網 (線径0.25mm 網目16-18メッシュ)		・ 防煙シャッター	
	エ 法 材 料 ひび割れの幅 延べ長さ		セメントスラリー ※16 ・ ※16 注入工法				 ガラス繊維入り合成樹脂 ・ステンレス(SUS 316) ※合成樹脂 	10 +==	〈5. 11. 2~4〉〈表5. 11. 1〉	
	(mm) (m) (m) (m)		・タイル部分張替え工法 0.25 未満				防鳥網 ※ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm	12. 軽量 シャッター	開閉形式 シャッター 耐風圧 スラットの 保護装置 ケース 性能 形状 保護装置	
	- 可とう性エポキシ樹脂 ※ 樹脂注入工法 ※ 硬質形エポキシ樹脂 0.2~0.3未満		・タイル張替え工法		4.	樹脂製建具	外部に面する建具性能等級等 〈5.3.2〉表5.3.1〉		※ 手動式 ※ 設ける ・ 50 ※ インター 障害物感知装置	
	軟質形エポキシ樹脂 0.3~0.5未満						種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法(mm)		<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""></td>	
	0.5~1.0未満		アンカーピンの材質 ※ <4.2.2(e)(f)>による。	<4. 2. 2>			 B種 S-5 A-4 W-5 ※建具表による 		(手動併用) ・ ※ オーバー ・ 設けない	
	除去後 0.3~0.5未満		アンカーピン固定用エポキシ樹脂	<4. 2. 2 (e) (f)>			· C 種 S - 6 ***		(JIS A ラッピング型 4705に	
	・Uカットシール 材充てん工法 ・ シーリング材 P U − 2 1.0 ~ 1.5 未満		※ JIS A6024のJIS表示認証製品 ※硬質 高粘度形 注入用エポキシ樹脂				防音ドアセット、防音サッシ 〈表5.3.2〉		よる。	
	・樹脂注入工法の ・ 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未満 上タイル ~ 未満		※ JIS A6024のJIS表示認証製品 \				・ 適用する(適用範囲は図示による) ※ 適用しない 適用する場合の遮音性の等級 T-A種 T-B種		区分)	
	張替え工法 4.	タイル張り		. 5. 8×6. 16. 3>			断熱ドアセット, 断熱サッシ (表5.3.3)	13. オーバー	<5.12.2~3>	
	・ タイル部分 ・ ポリマーセメント		形状 き じ うわくすり 役物 色 施工箇所 寸法 磁器陶器せつ 施 無 有 無 標準注文	再生材 備 考 利用			・ 適用する(適用範囲は図示による) ※ 適用しない	ヘッドドア	材 質 開閉方式 収納形式 耐風圧性能 ガイドレール	
	エポキシ樹脂		ルニ曲(7) 「// (mm)	タイル			適用する場合の断熱性の等級 · H-A種 · H-B種 表面色 (5.3.4)		タイプ ・ チェーン式 ダード形 ・ 75 メッキ鋼板	
	・ 目地ひび割れ ※ 既製調合目地材 改修工法						表面色		タイプ ヘッド形・125 鋼板	
	- 樹脂注入工法 (4.3.4(c))		タイル張替え工法のタイル張り工法は、〈表4\5.3〉により、小口	4 / II.D.F	5	鋼製建具	簡易気密型ドアセット 〈5.4.2〉〈5.4.4〉〈表5.4.2〉		- ファイバー - ハイ (JIS A4715 グラスタイプ リフト形による強さ	
	ひび割れの幅 (mm) 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0以下		二丁掛け以下は密着張りとする。	. 1			※ 使用する(適用範囲は図示とする)気密性 ※ A-3		バーチ の区分)	
	注入孔の間隔 (mm) 200程度 300程度 300程度 5.	塗り仕上げ	<4.1.\4(d)><4.2.2(j)	><表4. 2. 4~5>			水密性 ※ W−1 ·		カル形	
	コアの抜取り検査 ・ 行う ※ 行わない 〈4.3.4(f)〉	外壁	規格名称 種類(呼び名) 仕上の形状 エ 法 上 ・薄付け 外装薄塗材E ・砂壁状 ※吹付け	空り付			・使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 S-5		障害物感知装置 ※ 設ける ・ 設けない 〈5.13.2〉<5.13.3〉<表5.13.1〉	
② 欠損部改修	コンクリート打放し仕上げ <4.3.7>		仕上塗材 ・ 砂壁状 ・ローラー				建具寸法が<5.3.4(a)>を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ	(4) ガラス	※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を	
C: Value of right	工 法 材 料 平均深さ(mm) 延べ面積(m)		・厚付け ・外装厚塗材C ※吹付け				注		有すること。	
	※ 充てん工法 エポキシ樹脂モルタル 20~30未満 30~40未満		仕上塗材 ・外装厚塗材E ・こて \				出入口 枠類 一般部分 2.3		※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。 合わせガラスの特性	
	ポリマーセメント 5~10未満 モルタル 10~15未満		・複層 ・複層塗材CE ・ゆず肌 ※吹付け 溶剤 仕上塗材 ※複層塗材E ・凸部処理 ・ローラー ※カ	系・溶剤系			戸 中骨 2.3 上記以外		· I類 · Ⅱ-1類 · Ⅱ-2類 · Ⅲ類	
	10~15未満 15~20未満		・複層塗材RS ・凸凹模様 、・弱	溶剤系			標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない		強化ガラスの特性 ・ I類 ・ Ⅲ類	
	・ モルタル塗り仕上げ (4.4.8~9)		- 複層塗材RE - 複層塗材Si 外観 - ※元	やあり	_	ACC 441 47 14			熱線吸収板ガラス	
	工 法 材 料 平均深さ (mm) 延べ面積 (m) ※ 充てん工法 エポキシ樹脂モルタル 20~30未満		- 防水形 \ - メ	タリック	6.	朔製軽量建具	簡易気密型ドアセット 〈5.5.2~4〉(表5.5.1) ※ 使用する(適用箇所は図示による)		性能 ・ 1 類 ・ 2 類	
	30~40未満 ポリマーセメント 5~10未満			クリル系			気密性 ※ A-3 使用しない		色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブラウン 複層ガラス	
	モルタル 10~15未満		複層塗材RS	リカ系 リウレタン系			・ 使用しない 戸の銅板 ※ 表面処理亜鉛めっき銅板		性能・1種・2種	
	15~20未満 ・モルタル ・〈表4.4.1〉による 20程度		※可とう形 ※可とう形 ※ゆず肌 ※吹付け ※ア	タリル_			ビニル被覆鋼板		· 3種 (· U3-1 ·U3-2) · 4種 · 5種	
	塗替え工法 ラス下地25程度 ・ポリマーセメント			リコン系とう形改修用			・カラー鋼板		封止の加速耐久性による区分	
	・ボリマーセメント		改修塗材RE	材の場合) ツ素系			標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する 使用しない 〈5.5.6〉 標準型鋼製軽量建具の小窓枠,がらり ※ 鋼製 アルミ製		・ I 類 ・ Ⅲ類 ・ Ⅲ類 熱線反射ガラス	
	・タイル張り仕上げ (4.5.7~8)		改修塗材CE	र आरश्यर	-	ステンルマ制	標準型鋼製整重建具の小芯枠, からり ※ 鋼製 ・ アルミ製 簡易気密型ドアセット		日射遮へい性 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種	
	工 法 材 料 平均深さ(mm) 延べ面積(m) ※ タイル部分 エポキシ樹脂モルタル 20~30未満		・軽量骨材 仕上塗材 ・吹付用 軽量塗材 ・砂壁状 ・平たん状 ・吹付け ・ こて塗り	\	'	ステンレス妥 建具	※ 使用する(適用節囲は図示とする)		耐久性 ・ A類 ・ B類 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ	
	張替え工法 30~40未満		・こて塗用	\			気密性 ※ A - 3 · 水密性 ※ W - 1 ·		シルバー	
	ポリマーセメント 10~15未満 モルタル 15~20未満		軽量塗材	0場合)			・ 使用しない		反射皮膜 ・ 内側 ・ 外側 映像調整 ・ 行う ・ 行わない	
	・タイル		・ 耐候形 2種 ※ 耐候形 3種 (可とう形改修塗材)	\ \			外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 · S-5			
	- タイル <u>張替え工法</u>		※ 胴族形3種 (可どつ形成修座材)	ムフトのの場合)			表面処理 ・ H L ・ 〈5.6.4〉 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ 〈5.6.6〉			

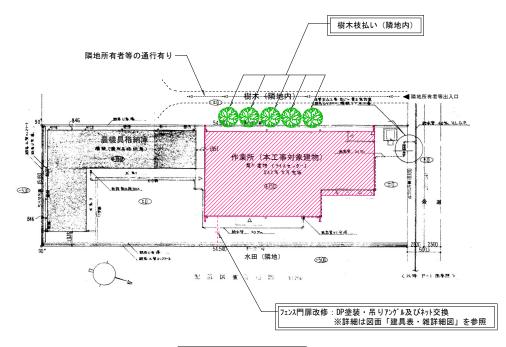


0 2

		Ι.		<u> </u>		1	
5 ④ ガラス	ガラスの留め材 6 ※ シーリング・ ガスケット (可動アルミ製建具に限る)	\	耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離	6 23: タイル張り	タイルの種類 (6.16.3) 施工箇所 形状寸法 き じ うわ薬 役物 色 再生材 海舎	4. セメントの	※ 普通ボルトランドセメント又は混合セメントのA種 〈8.2.5〉
建		\	強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の	4	(mm) 磁器せっ器陶器無釉施釉ありなし標準注文 利用 "***********************************	種類	※ 自通小ルドランドとアンドスは混合とアンドの各種 (0.2.3)
具	とする。	LE Nomina de la m	試験後異常がないこと。	表		5. 骨 材	細骨材の塩分含有量 (NaCl換算) ※ 0.04 %wt 以下 <8.2.5>
改	ガラスの溝幅については、〈表5.13.1〉による。ただし強化ガラス、 合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。	15. 視覚障害者用 成タイル	(6.8.2) 材 質 寸法(mm)	女		6. 混和材料	混和剤 ※ AE剤又はAE減水剤標準形 I 種 <8.2.5>
修	複層ガラスの保証期間は引き渡し日から10年間とし、メーカー保証書 修	\	- 塩化ビニル系 · せっ器質タイル系 300×300	\$	タイルの見本焼き ※ 行わない ・ 行う	7、軽量 コンクリート	(8.10.1) ★表8.10.1 種別適用箇所気乾単位容積質量(t/m3)
I	を提出する。	16. ビニル幅木	材 種 ※ 軟質 · 硬質 · 溶接 〈6.8.2〉	r	内装タイルの工法 〈6.16.5〉表6.16.5〉	(2))	性 /// 超 /// 图 // XX平位管锁员重化/ IIII/
事 ガラス ブロック	大阪	_ /	高 さ (mm) ・ 60 ※ 75 ・ 100	ji j	・ 積上げ張り 施工箇所() ・ 接着剤張り 施工箇所()		NETTON TO 14 10 1- 1- 7 17 1- 1- 7 20 1- 1- 7 (0.14.1)
(中空)	(JIS A5212) による区分(長さ×高さ) 厚さによる区分 正方形 125×125 160×160 80	\	厚 さ (mm) ・ 1.5 ※ 2.0			8.無筋 コンクリート	適用箇所は(6.14.1)によるほか、下記による。 (6.14.1) 適 用 箇 所
	200×200 · 320×320 · 95	17. カーペット 敷き	・ タフテッドカーペット	24. セルフレベ リング材塗り	種別 · 石こう系 · セメント系 (6.17.2~3) 塗厚 ※ 10mm ·		
	長方形 · 2°5·0×125 · 320×160 · 125		(mm) ※全面接着工法 ・<6.9.3(c)>			9.型枠	せき板の種類 ※ 合板 ・
	ロ貝寸 ガラスの種別 柄 目地色 金属 枠 耐火性能 ・一般ガラス - 無 · 白 · アルミニウム製 - _{担守してい}	\	・グリッパー工法 による		7.0	=	せき板の塗料 ※ 無 ・ 有
	- 一般ガラス - 無 · 白 · アルミニウム製 · 規定しない ・乳白カラス · 有 · グレー (表面処理) · 規定しない		N・ ダイルカーヘット (0.9.3~4八表0.9.1)	7) 1. 防火材料	《7.1.3》 ※ 屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示の	10. コンクリート の打込み工法	- ※ 流込み工法 · 圧入工法 <8.19.8×8.21.5
	カラーガラス 熱線反射ガラス 熱線反射ガラス		施工箇所 種 類 パイル形状 寸 法 総厚さ 帯電性 ※第1種 ※ループパイル※500×500 ※ 6.5 製造所の	塗	あるものとする。 - 次の箇所を除き防火材料とする。 ()	11. 既存部分の	* 既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ・
			・第2種 ・カットパイル ・ 仕様による	菱 ②. 錆止め	/7 2 2-2\/±7 2 2-2\/±7 2 1-4\	撤去	既存躯体の撤去範囲 ※ 図示
6 1. 改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 <6.1.3> ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。	18. 合成樹脂塗床		数 塗料塗り	下 地 種 別 下 地 調整 塗装 種別 塗料種別 鉄鋼面 新 規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種(見え掛かり) ※A種	1. あと施工 アンカー	(8.2.4) ※接着系アンカー [引張耐力 (KN), せん断耐力 (KN)]
	- 図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲	10. 日从田川主体	 - \ 厚膜型塗床材 	疹		, , , , , , ,	→ 接着剤 ※ 有機系 ・ 無機系
* \	※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。		- 弾性ウレタン樹脂系塗床材 - エポキシ樹脂系塗床材	ı	塗替え ・RA種 ※RB種 ・RC種 ・A種 ・B種 ※C種 (9節の場合) 亜鉛めっき 新規建具 ・RA種 ・RB種 ※RC種 ※A種 ・B種 ・C種 ※A種・B種 新規建具 ・RA種 ・RB種 ※RC種 ※A種 ・B種 ※A種・B種 新	5	- \ 金属系アンカー [引張耐力 (KN), せん断耐力 (KN)] 打込み方式 ※ 本体打込み式
dX \	- 図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修		- 薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床材)	#	銅面 新規 ※RA種 RB種 RC種 A種 B種 ※C種 ※C種 機能 塗替え RA種 *RB種 RC種 A種 B種 ※C種 (9節の場合) 改	2. あと施工	性能確認試験 ※ 行わない ・ 行う 〈8.2.4〉
18	※ 既存のまま		仕上の種類	3. 合成樹脂調合	〈7 2 2〉〈7 4 2~5〉〈表7 2 1~3〉〈表7 4 1~3〉		施工確認試験 ※ 行う ・ 行わない 〈8.11.5〉
エ ま 2. 既存床の機去	- 図示の範囲 合成樹脂塗床の除去方法 <6.2.2(a)>	19. フローリング	・ 単層フローリング 〈6.11.2~7〉〈表6.11.1~4〉	ペイント塗り (SOP)		1	\
事 2. 既存床の被去・下地補修	・ 目荒工法 ・ 機械的除去工法	張り	種別 樹種 厚さ(mm) 工法 塗装 ・フローリング ※ナラ ※15 幅 75 ・釘止め工法※ウレタン樹脂	(30)	※B種(内部) ・C種 ・2種	-	
3. 改修後の 床の清掃範囲	 当該室全体 図示の範囲 (6.2.2(c)) 		ボード ・ 長さ500以上・接着工法 ワニス塗り ・ フローリング ※ナラ ※15 303×303 ・モルタル ・オイルステン		塗替え	1	
4. 既存壁の撤去	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法 (6.3.2(a))		ブロック \・・・・・・・ 埋込み工法 塗りの上		<u> 塗替え ・RA種 ※RB種 ・RC種 ・A種 ※B種 ・C種</u> ・2種 8	1. 鉄骨製作工場	※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を <8.1.5> 受けた下記のグレード以上の工場
・下地補修	※ <4.4.9>による・ ()		・ モザイク		亜鉛めっき <u>健具塗替・RA種 ※RB種・RC種 ※A種・B種・C種</u> ※1種 銅面 <u>新 規 ※RA種・RB種・RC種 A種 ※B種 C種</u> ・2種		I · s \ · H · M · R · J
5. 木 材	表面仕上げの程度 · A種 ※ B種 · C種 〈6.5.1(c)〉		- フックス - 既塗装品		新成。※RA種・RD種・RC種・A種 ※B種・C種 ・ Z種 塗替え ・RA種 ※RB種 ・RC種 ・A種 ※B種 ・C種		本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾 する工場
	含水率 下地材 ※ A種 ・ B種 《6.5.2(a)》(表6.5.2) 造作材 ※ A種 ・ B種		・複層フローリング			2. 鋼材の種類	〈8. 2. 7><表8. 2. 5>
	造作材の材面の品質 ※ A種 · B種 〈6.5.2(b)〉<表6.5.3〉		種別 樹種 種別 防湿処理 工法 塗装	4. 合成樹脂 エマルション			対 質 規 格 · SS400 · SSC400 \ · STK400 · STKR400 JIS表示認証製品
	代用樹種を使用しない箇所 〈表6.5.4〉		フローリング ・サタラ ・B種 ※行わ ・接着工法 ワニス塗り	ペイント塗り (EP)	コンクリート面 新 規 ※RA種 · RB種 · RC種 ※A種 · B種 · C種 ※1種 a L Cパネル面		- SN400B, C - SN490B, C - SM400 - SM490
	※ なじ、 ・ あり () 造作用集成材は<6.5.2 (c) (ii))による		・ 複合 2種	(=,	押出成形 塗替え ・RA種 ※RB種 ・RC種 ・A種 ※B種 ・C種 セメント板面	0 75 4 45 11 1	(0.0.0)
6. 集成材	見付け材\面 JASによる集成材 その他		・ 複合3種 フローリング フェーリング ワックス ・生地のまま		干ルタル面 新 相 ・RA頭 ※RR頭 ・RC頭 ※A頭 ・R頭 ・C頭 ※1頭	3. 高力ポルト	(8.2.8) ボルト種別 セットの種類
	等級 ※ 1等・2等 ※ JAS集成材1等同等 単材の樹種		大型積層 ・ナラ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		プラスター面 塗替え		※トルシア形高カボルト・ JIS形高カボルト※2種(S10T)・ ※2種(F10T)
	単材の厚さ(mm) 10~15 10~15		フローリング ・サクラ ・行わ 工法 ・既塗装品 ない (体育館床)		その他の 塗替え ※RA種(維目処理工法) ・A種 ※B種 ・C種		・溶融亜鉛メッキ高カボルト ※1種(F8T相当)
7. 床張り用合板	床下貼り用合板 (12.2.1) ※ JASの構造用合板 特類 2等以上 C-D以上	20. 畳敷き	畳の種別 · A種 · B種 〈6.12.2×表6.12.1〉		19	4. 溶接部の試験	1
	· ()	21. 石こうボード	※ C種 ・ D種 〈6. 13. 2~3〉〈表6. 13. 1〉〈表6. 13. 5〉	(5). 耐候性塗料 塗り(DP)	(7.2.3~6)<7.8.2~4) 天地種別下地調整 塗装種別 塗料種別		
8. 防腐・防蟻	薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理	その他ボード	種類又は記号 種別など 厚 さ (mm) 規格番号	1 -,,	下 地 種 別 下 地 調 整 塗 装 種 別 塗料種別 鉄鋼面 新 規 ※RA種・RB種・RC種・A種 ※B種・C種 ○1級 エ つられ	6. 耐火被覆	(8.17.2)<8.17.4~7) 種別 材料及び工法製造所 備 考
- 防虫処理	薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を	張り	けい酸カルシウム板 壁 ・ 8(不燃) JIS A 5430 (繊維強化セメント板) ・ 10(不燃) (タイプ2)		塗替え		- ラス張モルタル 改修標準仕様書6章15節による 耐火材吹付け 建築基準法に基づく指定 ※半乾式 湿式
	を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理を行う。 防虫処理		0.8FK又は1.0FK		亜鉛めっき 建具塗替・RA種 ※RB種 ・RC種 ※A種 ・B種 ・C種 ・1級 〜 銅面 新 規 ※RA種 ・RB種 ・RC種 ・A種 ※B種 ・C種 ・2級		- 耐火板張り - 耐火材巻付け 又は認定を受けたもの
	ラワン材 保存処理性能区分 ※K1		12(不燃)		塗替え ・RA種 ※RB種 ・RC種 ・A種 ※B種 ・C種 ※3線 コンクリート画 新 規 ※RA種 ・RB種 ・RC種 ・A-1種・B-1種・C-1種	7. アンカー	材質 ※SS400 · SNR400B (7.2.4)
9. 軽量鉄骨天井 下地材	野縁などの種類 (6.6.2)(表6.6.1) 屋内 ※ 19型 25型(室名:)		グラスウール ガラスクロス 25 (不燃) JIS A 6301 収音ボード (JIS A 3414 (32K)		押出成形 · A-2種 · B-2種 · C-2種	ボルト	
	屋外 ・ 1 9型 ※ 2 5型 (6.6.4(a))		(吸音材料) GW-B EP18程度) 額線張り品		セメント板面 塗替え ・RA種 ※RB種 ・RC種 ・k-1種・C-1種 ・k-2種・C-2種	8. 既存部分の 撤去	既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 \ - 《8.20.2》 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 -
	インサート ・ 既存インサートを使用する ・ あと施工アンカーを設ける		ロックウール ※ 内部用 普通 ※ 9(不燃) JIS A 6301 化粧吸音板 ・ 軒天用 ・ 12(不燃) 8				
	あと施工アンカーの引抜き試験 〈6.6.4(a)〉		(吸音材料) DR 立体 · \12(不燃)		■ 記載及び指示なき事項は構造設計特記仕様書による		\
	行う ※ 行わない		模様 - 1,5(不燃) - 19(不燃)	鉄 1. 鉄筋の種類			冷结本细带生耳45冷结四8两一一半上十二
	耐震性を考慮した補強		せっこうボード 壁 ・ 9.5(準不燃) JIS A 6901 耐 ※12.5 (不燃)	筋	鉄筋コンクリート用棒鋼 ※ SD295A ※ D16以下・ !	1. 工 法	溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法
	耐風圧性を考慮した補強(ピロティ、屋外軒天井等) 〈6.6.4(k)〉		GB-R 15(木燃)	T			コンクリート及び構造躯体用のモルタルの打設 圧入工法 流し込み工法
10. 軽量鉄骨	※ 行わない・ 行う (補強方法と補強箇所は図示による) (6.7.3)			事 2. 溶接金網	※ JIS G 3551のJIS表示認証製品 線径(mm) 6.0 × 網目(mm) 100 (8.2.2) 耐速		 鋼板巻き工法 帯板巻き付け工法 48. 21. 6> 8. 21. 6>
壁下地材	スタッド、ランナーなどの種類は〈表6.7.1〉による。		シージング せっこうボード 壁 12.5(準不燃) 天井・9.5(準不燃)	0 8400 044	使用箇所(連続繊維補強工法
11. 体育館の 鋼製床下地	※ JIS A 6519のJIS表示認証製品		(せっこうボード製品) ※12.5(準不燃) GB-S	3. 鉄筋の継手 4. 柱の帯筋	径 19 mm 以上 ※ ガス圧接 ・ 重ね継手		製造所 (引張強度試験及び付着強度試験
刺表床下地 12. ビニル床	JIS A5705のJIS表示認証製品 <6.8.2><6.8.3>		化粧せっこうボード トラバー 9.5(不燃) JIS A 6901 事	5. 圧接完了後の	= ·	o er-+	・ 行う ・ 行わな\\
シート張り	種 類 記号 色 柄 厚さ(mm) 特殊機能 工法		(せっこうボード製品) チン模様 GB-NC 色 ※白	抜取試験	<u></u>	2. 既存部分の 撤去	既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示・
	※ 発泡層の ※FS ※無地 ※ 2.0 ・帯電防止 ※熱溶接 ないもの ・TS ・マーブル ・ 2.5 ・耐動荷重 ・ 突付け		************************************	3			\
	- 発泡層の · HS · · · · · · · · · · · · · · · · ·		(せっこうボード製品) ※12.5(不燃) 、	2	■ 記載及び指示なき事項は構造設計特記仕様書による		
13. ビニル床	JIS A5705のJIS表示認証製品 (6.8.2)		(裏桟付き) ※12.5(不燃)	対 1. 設計基準強度 配	普通コンクリート (N/mm2) (8.1.3) 設計基準強度 適用	1. グラウト材	無収縮モルタル材は、製造所で調合された材料を使用する。 (8.2.10) 圧縮強度(N/mm2): 30以上
タイル張り	種 類 記 号 寸 法 厚さ(mm) V 特殊機能		特殊模様	ž s	NA 至于 NA M		コンシステンシー J ₁₄ ロート値(秒): 6~10
	※ コンポジション ※ KT ※ 300×300 ※ 2.0 ・ 帯電防止 ビニル床タイル ・ 計動荷重			Ě		2. 柱底等の	乾燥収縮(× 1 0 ⁻⁴) : 0 毎回袋エルタルサ
	・ホモジニアス		でつこうホートの日地処理・・経日処理工法・・笑さ付けく日地工法・・ 突き付け工法・ 目透し工法	2. レディー	類別 ※ I類 ・ I類 (8.1.3〉(表8.1.1)	2. 在底等の 均しモルタル	無収縮モルタル材 ・ 使用する ・ 使用しない (8.2.10)
14. ビニル床	帯電防止	21. 遮音シール材	・アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド 〈ô. 13. 2〉	2. レディー ミクスト コンクリート	\ \ <u>\</u>	3. スリットの	※ 完全スリット ・ 部分スリット 〈8 22.1〉
タイル・ビニル 床シートの	- 帯電防止性能評価 (JIS A 1445) 1.2~3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023)3kv以下	22. 壁紙張り	施工箇所 品質 防火性能の級別 い	リ 3. 打放し	〈8.1. 4〉⟨表8. 1. 3〉⊋	種類 オリットの	耐火材の使用 ・ 使用する ・ 使用しない 〈8.22.2〉
特殊機能	- 帯電防止性能評価 (JIS A 1445) 3.2~5.1程度 又は漏えい抵抗値(JIS A 1445) 0.1×1010オーム未満			十 件 上 げ の 種 別	- A種 (m)	4. スリットの 充填材	耐火材の使用 ・ 使用する ・ 使用しない 〈8.22.2.2〉 適用箇所 ※ 図示
	- 帯電防止性能評価 (JIS A 1445) 5.2以上		- 不態 - 準不態 - その他 - 不燃 - 準不態 - その他 - 不燃 - 準不態 - その他	<u> </u>	※ B種 ・ C種		遮音材の使用 ・ 使用する ・ 使用しない 適用箇所 ※ 図示
	又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×107オーム未満	1	「小畑・宇小漁・その他			<u> </u>	RETTI ESTIT XX BATA



案内図 NS



配置図 1/400



本工事対象を示す

【特記事項·各図面共通】

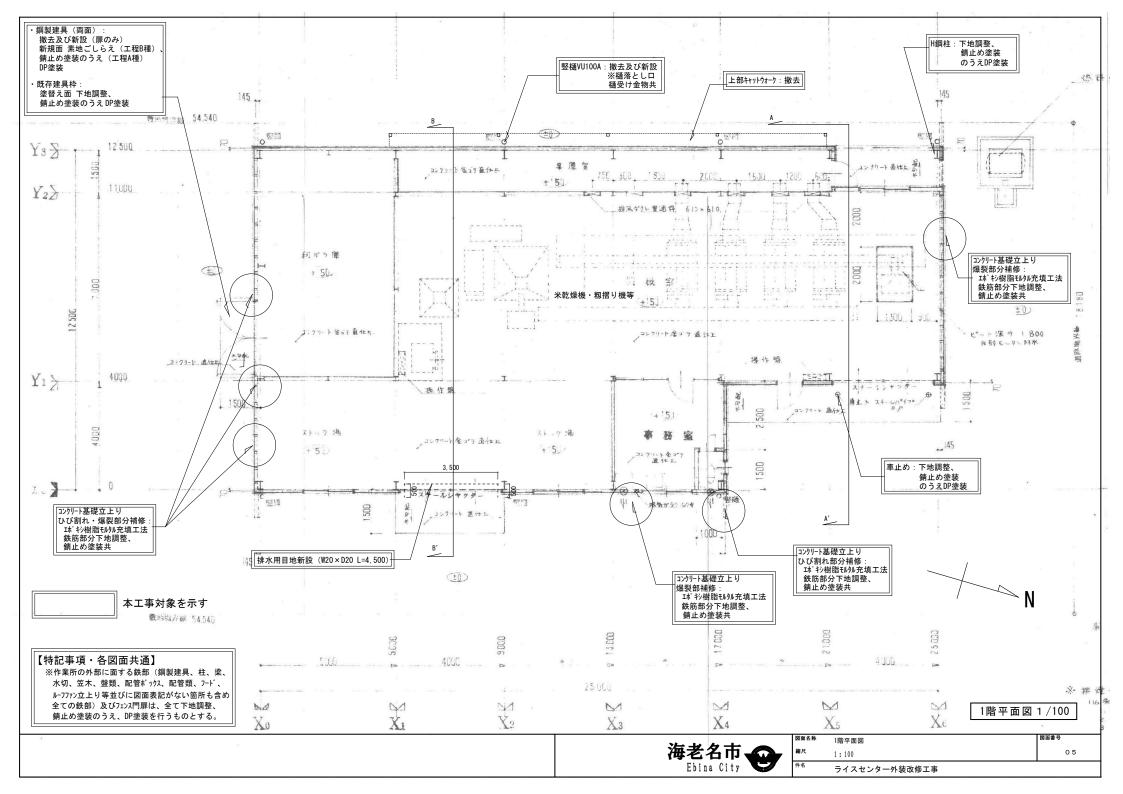
- ※作業所の内部には、米の乾燥機、籾摺り機等が 設置されているため、外壁シーリンヴの打ち換え等 の際には、撤去材、壁材の落下や雨水侵入等を 発生させることの無いよう細心の注意を払い施工 すること。
- ※屋根及び外壁の中波スレートにはアスベストが含まれている可能性があるため、外壁シーリングの打ち換え等の際に破損や飛散等を生じさせることの無いよう細心の注意を払い施工すること。

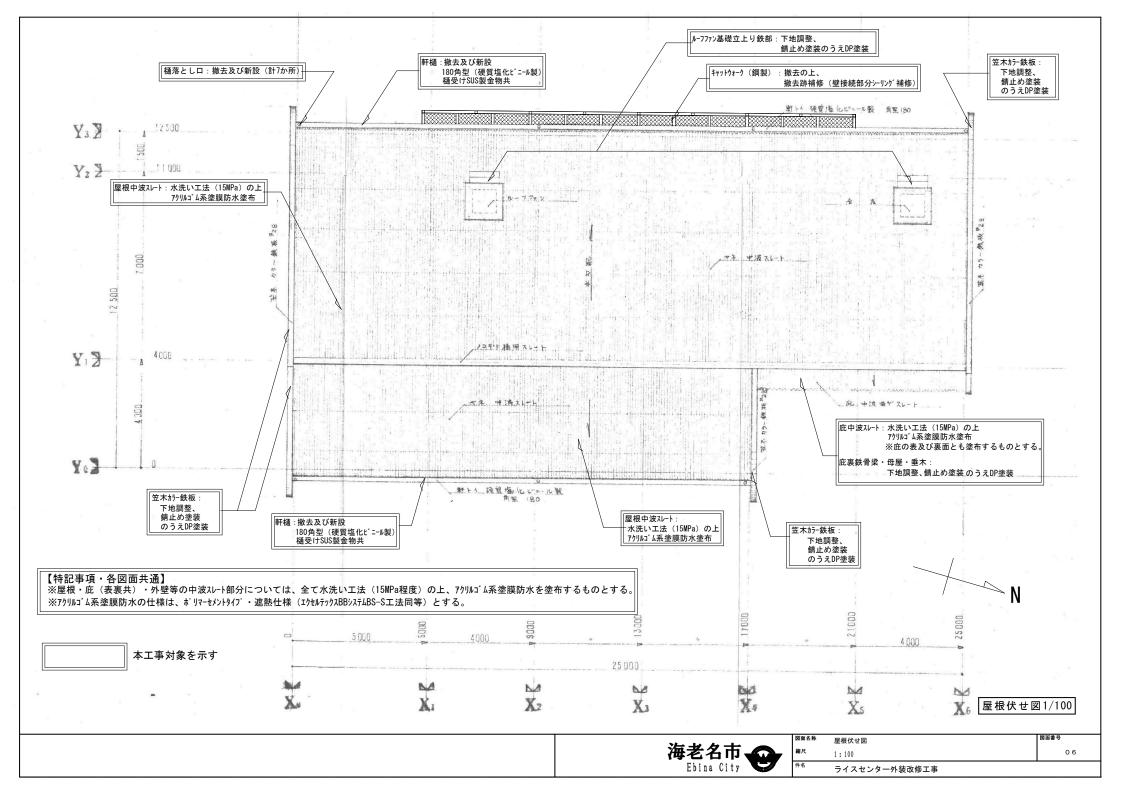
0 4

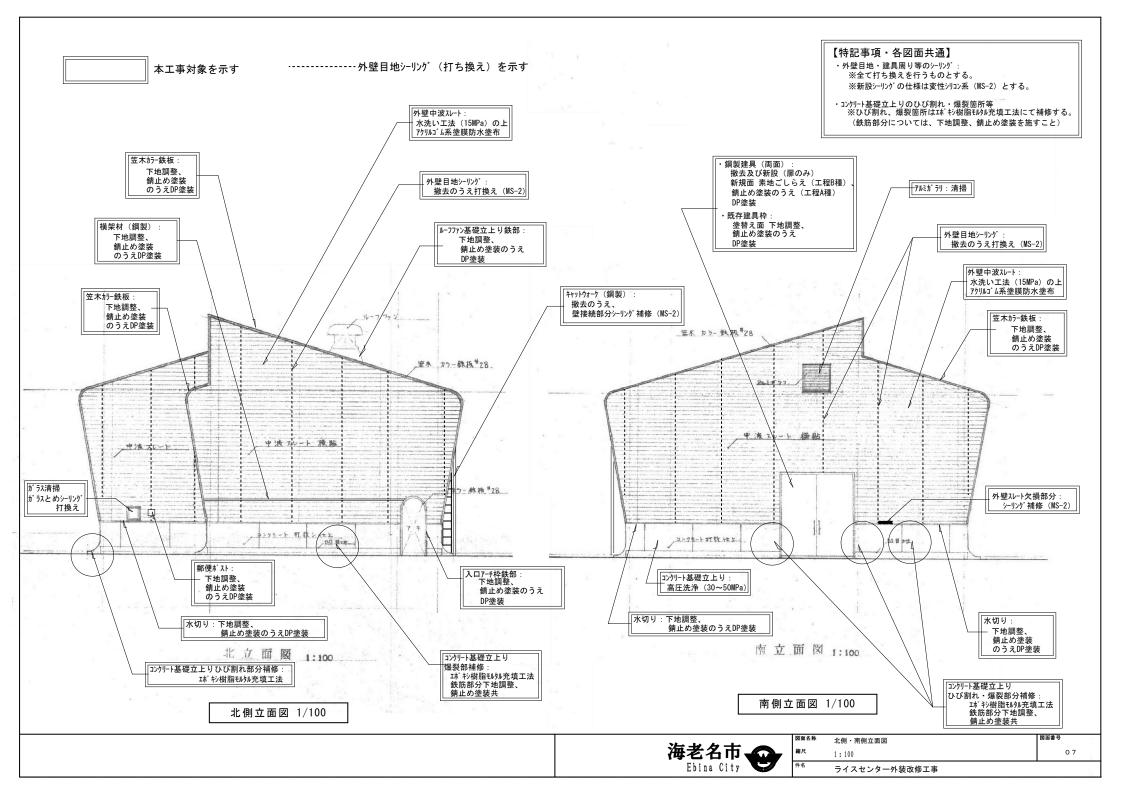


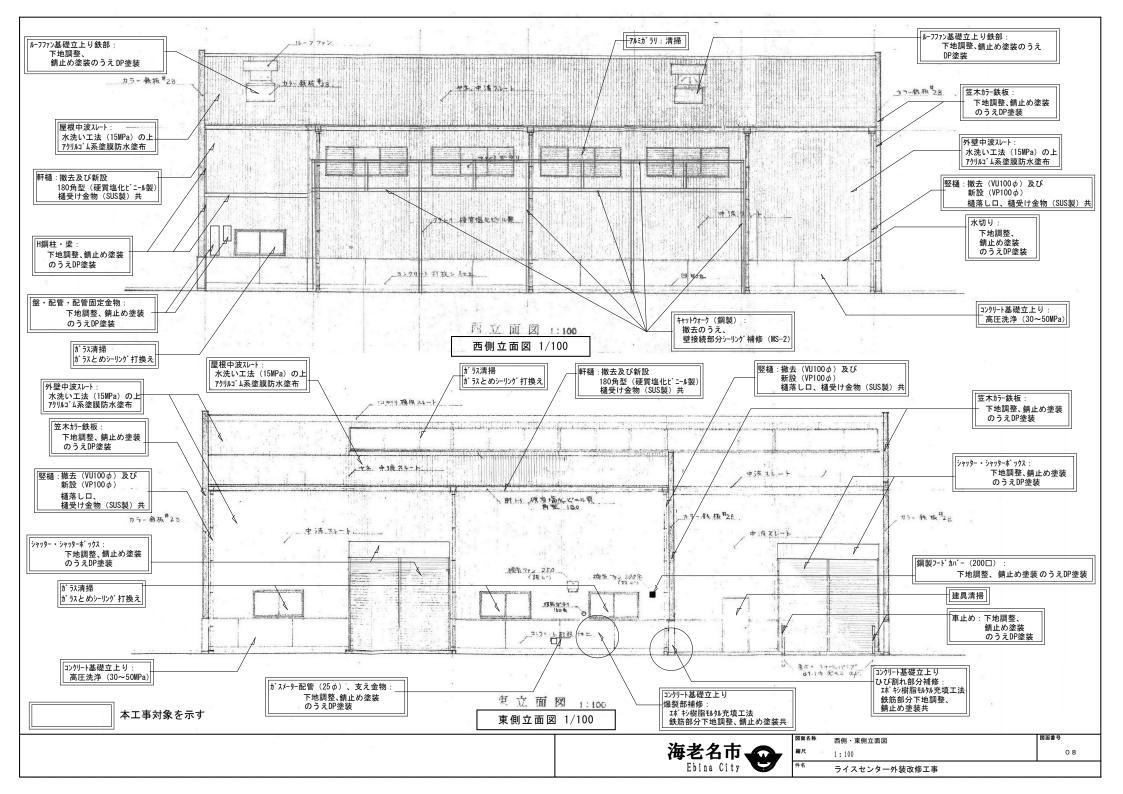
称	案内・配置図	図面番号
	N S • 1 • 400	0

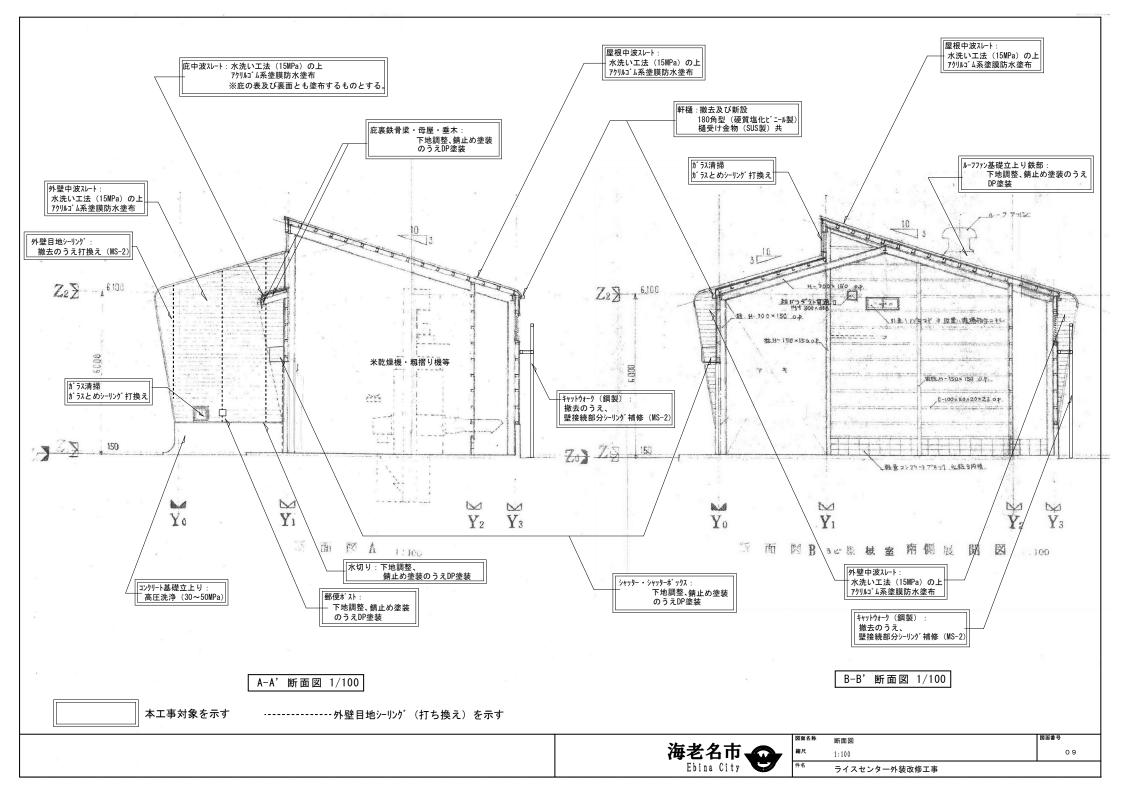
ライスセンター外装改修工事

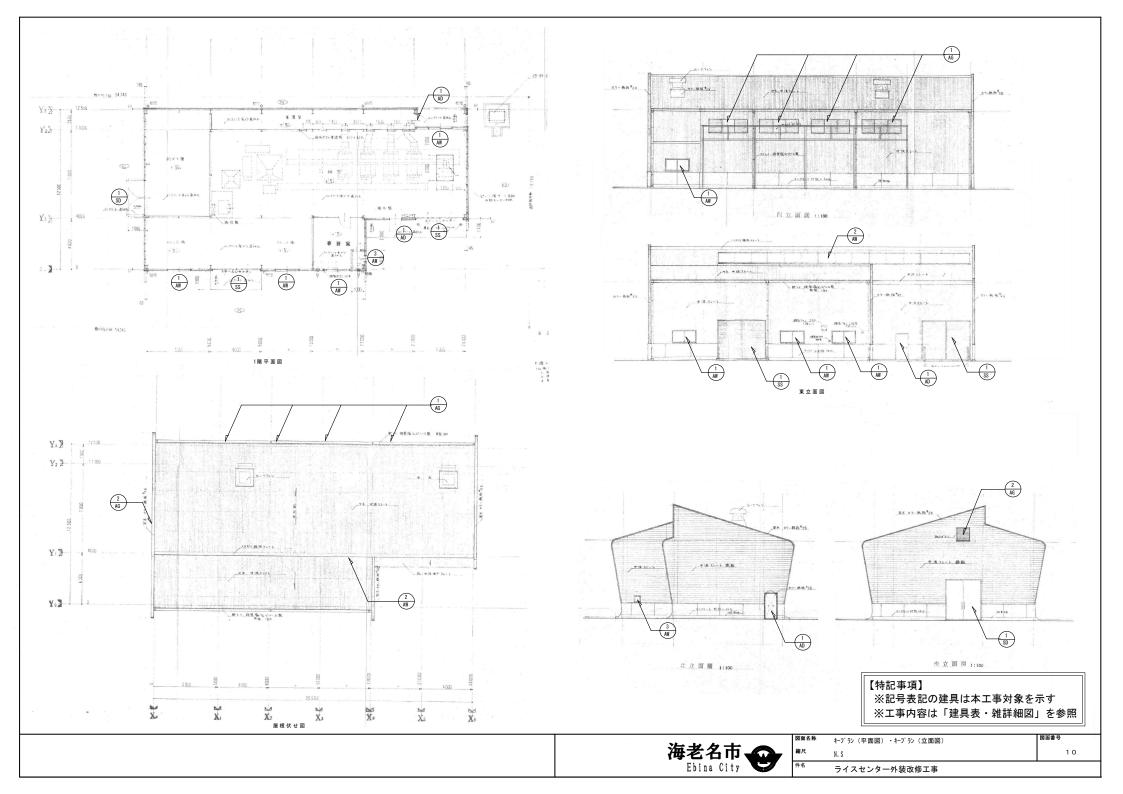






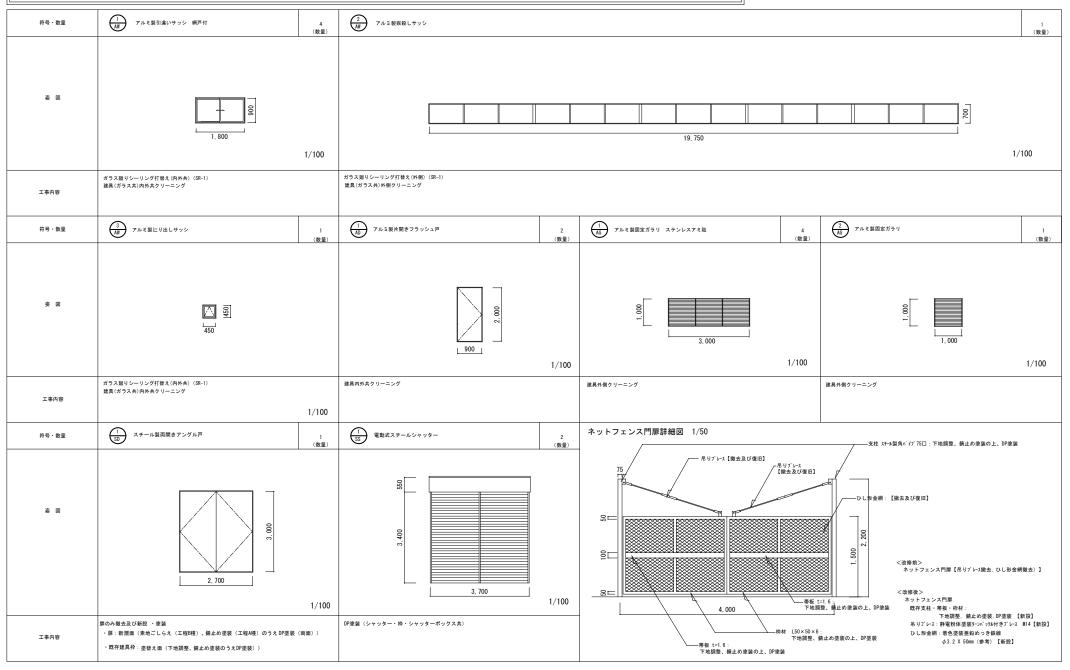






【特記事項】

※下記建具及びフェンス門扉は本工事対象とする。なお、位置等については「案内・配置図」「キープラン(平面図)、キープラン(立面図)」を参照



海老名市 Fhina City
 図面名称
 建具表・雑詳網図
 図面番号

 縮尺
 1/50・1/100
 1 1

 件名
 ライスセンター外装改修工事

